

ポイント

◆◆特集◆◆

★『ITS スポットサービス、全国展開へ』★

(国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS推進室)

2009年秋より、民間からITS車載器が販売されるとともに、首都高等においてITSスポットサービスが開始された。さらに、2010年度冬には、高速道路上を中心に、ITSスポットが全国に配備され、サービス提供エリアが拡大される。

本稿では、いよいよ全国展開するITSスポットサービスについて紹介する。

◆◆訴訟事例紹介◆◆

★死角のあるトンネル出口における自転車同士の衝突事故について、
道路の設置・管理瑕疵が争われた事例★

<平成20年12月19日 高知地裁判決>

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

【事案の概要】

自転車が通行可能なトンネル内の歩道を走行していた自転車とトンネルに進入しようとしていた自転車が出入口付近で衝突し、1人が死亡。

事故現場付近の歩道幅員は、トンネル内で2m、出口で3.5mとなっていることから死角が生じており、本件事故は、歩道の設置・管理瑕疵が原因であるとして、道路管理者に対し損害賠償を請求。

【判決要旨（請求棄却）】

本件事故は、道路交通法に反して歩道の車道寄りでない部分（死角部分）を走行した者と衝突を回避できるような速度で走行していなかった者によるものであり、このような異常な走行態様があることまでを予見して歩道を設置・管理しなければならないとまではいえないことから、本件歩道は通常有すべき安全性を欠いているとはいえず、その設置又は管理に瑕疵があるとは認められない。

◆◆TOPICS◆◆

★道路の横断に限る特殊車両通行許可の特例について★

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

特殊車両通行許可制度に関して構造改革特別区域において実施されている特例措置を一部全国展開することとなりました。本稿では、この経緯などについてご紹介します。

◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆

★ヤンバルのロードキル対策★

(沖縄県 北部土木事務所 維持管理班)

自然の宝庫である沖縄県本島北部（ヤンバル）の森を通過する県道は、地域住民にとって重要な生活道路です。一方では、貴重な天然記念物であるヤンバルクイナをはじめとする野生生物の交通事故や側溝内での衰弱死が報告され、その対策が叫ばれています。人と自然の共存を目指した動物用地下通路や側溝改良の取り組みについて紹介します。

★街路樹におけるデイゴヒメコバチ対策★

(那覇市 建設管理部 道路管理室)

沖縄県の県花であるデイゴ（マメ科）が近年、デイゴヒメコバチの加害を受け立ち枯れ等の被害が県内に拡大しており、那覇市道の街路樹においても確認された。本稿では、薬剤注入によるデイゴヒメコバチ対策について紹介する。

◇ ◆編集後記◆ ◇

最近、流行している ツイッター (Twitter) を皆さんはご存知ですか？

既に利用してる方も沢山いらっしゃるかもしれません。

私もその1人ですが、実はツイッターを知ったのは4年ほど前でした。機械音痴の私はその利用方法や目的がよくわかっておらず、同僚・友人との連絡網として、半ば強制的(?)に利用していたのです。

ツイッター?という方ももちろんいらっしゃると思います。ツイッターとは、パソコンや携帯電話を使って、特定のサイトに自分の意見を140字以内で投稿(つぶやき と呼ばれている)し、広い範囲に公開しているものです。公開範囲を指定することもできるので、友人同士のコミュニケーションツールとなっていたり、世界中の全く知らない他人のつぶやき を見ることもできます。

また、気軽に利用することができるため、多くの有名人が投稿している事でも有名で、先日は、有名アーティストがツイッターを始めたというだけでニュースになっていました。

特に有名人となると、その閲覧者(フォローする と呼ばれている)も何万人を数え、今、何をしているかやライブ直前の心境を投稿しているなど、ファンにとってはグンと距離が縮まったように感じるのかも知れません。

さらに、その利用方法も広がりを見せています。キーワード検索により、同じ趣味や意見を持つ人を探す事もできるので、ユーザー同士が自分の行動範囲を超えて新たなコミュニティを作る事ができるだけでなく、企業にとってもまたそのコミュニティを狙った広告活動をし、ツイッターを利用したビジネスチャンスに期待しているように思います。例えば「江戸川橋にいるよ」とつぶやくと“江戸川橋”というキーワードで検索したのか、江戸川橋の本屋さんからフォローされ、その本屋さんの担当者が“今月のおススメの本は〇〇です”というつぶやきを投稿してくる、という事が実際にありました。

今の自分の考えや行動を投稿し、他人の今を知る。これがツイッターの基本的な目的ですが、正しい利用方法を学びきちんと活用すれば、これからも多くの人利用するようになるのかなと思います。

インターネットや携帯電話が普及してから、人と人とのコミュニケーション方法は劇的に変化し、温かみが無くなったと嘆く人も多いかと思います。

しかし、私はどんなに時代が変わっても、その方法はパソコンや携帯電話などの機械的なもの変わったとしても、やはり人というのは人とのコミュニケーション(つながり)を求めるものなのだと感じています。

本当は失われてしまったのではなく、方法が変わったり範囲が大きく広がっただけでいつの時代も根底にあるものは変わらないのかも知れません。(K)